

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市石川記念武道館	評価対象年度	令和5年度
事業者名	・事業者名 シンコースポーツ株式会社 ・代表者名 代表取締役 石崎 健太 ・住所 東京都中央区日本橋堀留町2丁目1番1号	評価者	地域振興課長
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	所管課	幸区役所地域振興課

2. 事業実績

利用実績(人)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td>3,732</td> <td>3,519</td> <td>3,826</td> <td>3,558</td> <td>2,976</td> <td>3,944</td> <td>4,281</td> <td>3,892</td> <td>3,642</td> <td>3,333</td> <td>3,703</td> <td>3,717</td> <td>44,123</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>4,213</td> <td>3,875</td> <td>3,776</td> <td>4,256</td> <td>3,582</td> <td>4,059</td> <td>4,402</td> <td>3,638</td> <td>3,194</td> <td>3,278</td> <td>3,731</td> <td>3,530</td> <td>45,534</td> </tr> </tbody> </table>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	令和4年度	3,732	3,519	3,826	3,558	2,976	3,944	4,281	3,892	3,642	3,333	3,703	3,717	44,123	令和5年度	4,213	3,875	3,776	4,256	3,582	4,059	4,402	3,638	3,194	3,278	3,731	3,530	45,534
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																														
令和4年度	3,732	3,519	3,826	3,558	2,976	3,944	4,281	3,892	3,642	3,333	3,703	3,717	44,123																														
令和5年度	4,213	3,875	3,776	4,256	3,582	4,059	4,402	3,638	3,194	3,278	3,731	3,530	45,534																														
収支実績(千円)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">収入</td> <td>指定管理料</td> <td>18,239</td> </tr> <tr> <td>利用料金収入</td> <td>5,062</td> </tr> <tr> <td>事業収入他</td> <td>557</td> </tr> <tr> <td>収入計</td> <td>23,858</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">支出</td> <td>管理運営費</td> <td>16,617</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>6,920</td> </tr> <tr> <td>支出計</td> <td>23,537</td> </tr> <tr> <td>収支差額</td> <td></td> <td>321</td> </tr> </table>	収入	指定管理料	18,239	利用料金収入	5,062	事業収入他	557	収入計	23,858	支出	管理運営費	16,617	事業費	6,920	支出計	23,537	収支差額		321																							
収入	指定管理料		18,239																																								
	利用料金収入		5,062																																								
	事業収入他		557																																								
	収入計	23,858																																									
支出	管理運営費	16,617																																									
	事業費	6,920																																									
	支出計	23,537																																									
収支差額		321																																									
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・利用料金の値上げ等に関する周知について、区と連携して的確に対応し、遺漏なく丁寧に対応した。 ・武道指導員連絡協議会において、スポーツデー(指導者あり)と武道教室の役割分担について協議を重ね、武道教室の通年開催(2期制→4期制)化を開始した。 ・老朽化施設ながら、館内を常に清潔に保ち、快適で安全な施設を維持している。 																																										

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	(1)利用者満足度 【事業報告書2(11)】	利用者満足度調査を適切に実施しているか	6	3	3.6
		利用者満足度は向上しているか			
		調査結果の分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか			
	(2)事業成果 【事業報告書2(12)】	事業実施による成果の測定が適切に行われているか	6	3	3.6
当初の事業目的を達成することができたか					
	(評価の理由) 【利用者満足度】 ・年1回の利用者満足度調査における「総合的な満足度」での「満足・やや満足」は76%と昨年度より低下した。団体利用の利用者から料金やバリアフリーに関して「やや不満・不満」の声があるほか、施設の老朽化や冷暖房・駐車場等、施設設備に関連する要望に対する結果が影響していると推察される。 ・調査で寄せられた意見については対応の可否について検討し、可能なものについても優先度を設定し、より迅速な課題解決に努めている。教室参加者の意見要望に対して真摯に対応し、教室の運営改善に努めている。 【事業成果】 ・定期的なモニタリングの機会に指定管理者のセルフモニタリングを確認し、意見交換やスケジュールの確認等を行うことで、運営の質の向上に向けて取り組んでいる。				
収支計画・実績	(3)効率的・効果的な支出 【事業報告書3(1)】	計画に基づく適正な支出が行われているか	6	3	3.6
		支出に見合う効果は得られているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	(4)収入の確保 【事業報告書2(2)・3(2)】	計画通りの収入が得られているか	6	3	3.6
		収入増加のための具体的な取組が為されているか			
(5)適切な金銭管理・会計 【事業報告書3(3)】	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	4	3	2.4	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
	(評価の理由) 【効率的・効果的な支出】 ・経費削減はサービス水準を落とすことなく取り組まれるべきであり、徹底的な省エネによる光熱水費の削減や物品調達の見直し等に取り組んだ。 【収入の確保】 ・予算に対して、施設専用利用料、個人利用料、教室事業収入、物販収入の全てがマイナスとなった。利用者増加に向けた強い取組と、販促イベント等収入増加につながる一層の取組が求められる。 【適切な金銭管理・会計手続】 ・POSシステム、自動入金・集計システムの導入により、経理処理の正確性向上、時間短縮、金銭取扱リスクの低減に努めた。				

サービス向上及び業務改善	(6)適切なサービスの提供(施設の利用提供) 【事業報告書2(1)・(4)・(8)】	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	3 (× 0.6)	3.6	
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか				
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか				
	(7)適切なサービスの提供(トレーニング室を含む個人開放事業) 【事業報告書2(5)・(6)】	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	3 (× 0.6)	3.6	
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか				
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか				
	(8)適切なサービスの提供(教室事業) 【事業報告書2(7)】	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	3 (× 0.6)	3.6	
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか				
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか				
	(9)適切なサービスの提供(地域との連携、自主事業等) 【事業報告書2(3)・(9)・(10)】	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	3 (× 0.6)	3.6	
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか				
利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか						
(10)業務改善によるサービス向上 【事業報告書2(13)】	実施計画と実際のサービス提供に「ずれ」が生じている場合、原因究明に必要な取組が為されているか	8	3 (× 0.6)	4.8		
	業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか					
	業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか					
(11)利用者の意見・要望への対応 【事業報告書2(14)】	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	8	3 (× 0.6)	4.8		
	意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)					
	利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか					
(評価の理由) 【適切なサービスの提供(施設の利用提供)】 ・開館時間の前倒し、閉館時間の延長サービスを継続して実施し、利便性の向上に取り組んだ。 ・スポーツセンターの大規模工事に伴う週間スケジュールの変更や利用料金の改訂等に関する周知について、区と連携して的確に対応し、遺漏なく丁寧に対応した。 【適切なサービスの提供(個人開放事業)】 ・昨年度と比較して利用者は増加したものの、提案時の目標には到達していない。 【適切なサービスの提供(教室事業)】 ・スポーツデーとの役割分担について武道指導員連絡協議会と協議を重ね、武道教室の通年開催化を実現したものの、集客に至っていない。 ・利用のきっかけづくりとして、区民祭やスポマルという大きなイベントで武道の体験や、裾野を広げて参加しやすい体験教室などの取組を開催した。 【適切なサービスの提供(地域との連携、自主事業等)】 ・各武道連盟と連携を図り、主催大会や用具販売会の開催、県立武道館との連携に取り組み人気講師の派遣を受けた。 ・近隣の中学校と連携して、武道アスリート交流イベントとして柔道のオリンピック出場選手を招き、中学校柔道部と武道館利用者との合同稽古を行った。 ・新規の取組として、茶道・華道・書道のイベント開催や市観光協会との意見交換等を実施した。 【業務改善によるサービス向上】 ・業務改善が必要な事項については、日々の連携の中で協議し、定例のモニタリングでも確認している。 【利用者の意見・要望への対応】 日々寄せられる意見要望に真摯に対応し、所管課への情報共有も適切に行われている。						
組織管理体制	(12)適正な人員配置 【事業報告書4(1)】	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	8	3 (× 0.6)	4.8	
		(13)連絡・連携体制 【事業報告書4(2)】				定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか
		(14)再委託管理 【事業報告書4(3)】				再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか
	(15)担当者のスキルアップ 【事業報告書4(4)】	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	8	3 (× 0.6)	4.8	
	(16)安全・安心への取組 【事業報告書4(5)・5(5)】	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守る事ができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)				
		緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築し、定期的に情報交換を行っているか				
	(17)コンプライアンス 【事業報告書4(6)】	個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	4	3 (× 0.6)	2.4	
	(18)職員の労働条件・労働環境 【事業報告書4(7)】	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか				
	(19)環境負荷の軽減 【事業報告書4(8)】	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか				

組織管理体制制	(評価の理由) 【適正な人員配置、連絡・連携体制】 ・人員配置や緊急時の連絡体制は計画に基づき適正に実施されている。 ・月例モニタリングに加えて、随時面会や電話連絡により緊密に連携を取ることができている。 【再委託管理】 ・再委託先と緊密な連携を図り、計画どおりに業務を履行している。 【担当者のスキルアップ】 ・e-ラーニングを取り入れ、効率的に職員のスキルアップを図っている。 【安全・安心への取組】 ・施設の安全安心な運営に必要な訓練等を的確に実施している。緊急時の連絡体制についても適正に機能している。 【コンプライアンス、職員の労働条件・労働環境、環境負荷の軽減】 ・コンプライアンス、職員の労働条件等、適切に実施されている。 ・徹底した省エネの取組、照明のLED化等により環境負荷低減の取組を推進している。				
	(20)施設・設備の保守管理 【事業報告書5(1)】	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	6	3 (× 0.6)	3.6
	(21)管理記録の整備・保管 【事業報告書5(2)】	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
	(22)清掃業務 【事業報告書5(3)】	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
	(23)警備業務 【事業報告書5(4)】	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか	6	3 (× 0.6)	3.6
	(24)外構・植栽管理 【事業報告書5(6)】	外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
	(25)備品管理 【事業報告書5(7)】	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
適正な業務実施	(評価の理由) 【施設・設備の保守管理、管理記録の整備・保管、清掃業務】 ・施設設備の保守管理は計画どおりに実施されている。点検から把握した不具合等について速やかに対応し、市との連携により適切な維持管理が行われるように努めている。保守関係記録等は適切に整備・保管されている。 ・老朽化施設ながら丁寧な清掃が実施されており、清潔な環境が維持され、快適に利用できる利用者から評価されている。 【警備業務、外構・植栽管理、備品管理】 ・計画どおり実施しており、施設周辺での不審者やトラブルに関しても誠実に対応している。 ・基本的な日常業務を適切に実施、継続することにより、円滑に施設を運営している。				

4. その他加算

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
その他加算	(26)市の政策課題への取組 【事業報告書6(5)】	川崎市スポーツ推進計画やかわさきパラムーブメント推進ビジョンに基づく取組の推進、及び地域包括ケアシステムの構築に向けた自助・互助の取組の推進	/	/	3
	(評価の理由) ・幸スポーツセンターと連携して下記に取り組んだ。 ・市区の政策課題を的確に把握し、区役所を含む地域の様々な団体と連携してパラスポーツの普及啓発に積極的に取り組んだ。 ・幸区ポッチャ大会の運営においては、その専門性を生かしながら、協賛団体の獲得や大会運営に中心的役割を果たすとともに、大規模工事期間中に地域に Outreach ポッチャ体験を実施する等、多くの区民がポッチャを体験する機会を得た。 ・地域の寺子屋事業に関して、他の中学校では一般的に行われていない体験活動の担当事務局として活動している。 ・子育て世代のスポーツ実施率向上と施設の利用促進を目的とした「スポマル！さいわい」について、連携先を拡充して企画を充実させ、1,500人の区民の参加を得た。 ・オリンピックによるバレーボール教室を定期教室化するとともに、総合型スポーツクラブとの連携について積極的に取り組んでいる。 ・川崎フロンターレ幸アシストクラブの事務局として、積極的に地域の町内会・自治会や防災関連企業との連携を模索して前例のない防災イベントの立ち上げに貢献し、ホームタウンスポーツの振興と地域活動の活性化に貢献した。				

5. 総合評価

評価点合計	63.0	評価ランク	C
-------	------	-------	---

6. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

- ・年1回の利用者満足度調査における「総合的な満足度」での「満足・やや満足」は76%と昨年度より減少した。
- ・利用のきっかけづくりとして、区民祭やスポマルという大きなイベントで武道の体験や、裾野を広げて参加しやすい体験教室などの取組を開催したほか、新規の取組として、茶道・華道・書道のイベント開催や市観光協会との意見交換等を実施した。
- ・利用者拡大に向けて、各武道連盟と連携を図り、主催大会や用具販売会の開催、県立武道館との連携に取り組んだほか、近隣の中学校と連携して、武道アスリート交流イベントとして柔道のオリンピック出場選手を招き、中学校柔道部と武道館利用者との合同稽古を行った。

上記のとおり、1年間の運営を通じて高く評価できる点も多く、概ね良好な運営がなされていると判断し、公の施設の管理者として公平でバランスの良い運営を心がけていることを評価する。

7. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

- ・利用者の意見を踏まえ日々の業務改善に活かすことが施設全体の魅力向上につながることを常に意識し、顧客満足度調査や個別に実施するアンケートなどを有効に活用し、利用者のニーズを組み入れながらも公共施設という枠組みの中で最大限の効果が出せるよう取り組まれることを期待する。
- ・提案時の予算計画に比して収入が確保できていない状況があるため、施設の効用を最大限に発揮して利用者の更なる増加と物販の充実を図るとともに、経費節減に努め、収支均衡を目指すこと。
- ・引き続き幸スポーツセンターと連携して、武道の普及啓発に関する企画や広報等を積極的に実施し、利用者拡大に努めること。
- ・武道の振興に向けて、引き続き中学校や県立武道館との連携を進めることや、武道と接点のある座禅や呼吸法、姿勢といった切り口から、一般の区民の関心を広げていくような新しい企画等を積極的に検討し、オリジナリティ溢れる取組を進めていただくことを強く期待する。
- ・県立武道館との連携事業、武道インフォメーションコーナーの設置、伝統芸能のイベント開催、武道アスリート交流イベントの開催等、これまでに実現した提案事業の継続・拡充について取り組み、利用者拡大につなげること。
- ・施設の老朽化が進んでいることを十分に考慮して、適切な施設維持管理を行うとともに、利用者からの評価が高い清潔な環境維持に引き続き努めることを期待する。
- ・令和6年度下半期に予定されている武道場への空調設置工事による休館について、武道指導員連絡協議会との協議を十分に行い、可能な限り事業継続を図ること。休館や事業実施場所の変更等に伴う周知について、十分な期間を取り、丁寧な対応を行うこと。
- ・所管課と連携して情報共有を図りながら、利用者が安全安心に利用できる環境づくりに努めること。